

100種の金属加工例を紹介

初の「サンプル室」オープン



菊川工業(東京都墨田区)は4月、金属加工例のサンプル室「Studio OK+(スタジオ・オーケープラス)」を開設した。千葉県にある自社工場「キクワテクノプラザ」の元サンプル保管庫をリノベーション。同社の金属加工技術をアピールしていく。改修費用はおよそ2000万円。

サンプル室最大の特徴は商品展示数。約100平米のフロア内に、これまで手掛けた完全オーダーメイドの金属加工事例約100種類が展示されている。金属商品は入口から時計回りにアルミ、スチール、ステンレス、ブロンズとなっている。サンプルは縦と横で基盤目のように並んでいる。横がアルファベット(A~U)、縦が数字(1~27)で表示され、どこに何があるかひと目で分かる仕組み。



宇津野嘉彦社長

▲工場内には、これまでの実績や未公開施工事例まで設置されている

は商品展示数。約100平米のフロア内に、これまで手掛けた完全オーダーメイドの金属加工事例約100種類が展示されている。金属商品は入口から時計回りにアルミ、スチール、ステンレス、ブロンズとなっている。サンプルは縦と横で基盤目のように並んでいる。横がアルファベット(A~U)、縦が数字(1~27)で表示され、どこに何があるかひと目で分かる仕組み。

商品横に設置されたiPadで商品紹介欄に書かれたQRコードを読み取ると、サンプル情報を閲覧可能。商品の製造過程を映像で見ることが出来る。打ち合わせスペースも設置している。その場で相談でき、工場併設型のため職人との距離も近い。予約不要で気軽に来ってもらうことを目指す。

宇津野嘉彦社長は「デザイナーの皆さんに、金属の素材や仕上げ、加工技術を肌で感じてもらうスペースにしました。こんな発想ができる、こんな使い方ができるという提案をしていく場にもしたいです」と述べた。また、社員間交流にも

役立つ。これまではサンプルや商品などは各担当者別になっており、共有されることが少なかったという。「そこでこのサンプル室を生かして、社員間での技術共有の場にしてほしい。図書館のように、いつでもサンプルを引き出せるよう奥の棚に商品をしまえます」

今後は小学生の工場見学や、設計事務所向けの工場ツアーなどにも活用したいという。